

当院における包括的ヘルスプロモーションの実践

石部洋一¹⁾、吉井章雅¹⁾、高田智恵美¹⁾、大室里美¹⁾、井上佳恵¹⁾、大崎泰葉¹⁾、垣内春菜²⁾

1)水島協同病院、2)所健康事業部

(はじめに)

- ヘルスプロモーションとは危険因子を減らすといった疾病の発生の予防手段としてだけでなく、いったん発生した場合には進行を止め、予後を改善する手段である。
- 2016年より日本HPH(Health Promoting Hospitals & Health Services)ネットワークに加入している。このネットワークが提唱するヘルスプロモーションは、SDH(健康の社会的決定要因)、肥満、栄養、運動、喫煙、飲酒へのアプローチが基本とし、**地域住民、患者、職員に対し現在までの当院の活動を報告する。**

ヘルスプロモーションのイメージ



どの分野でも使える 基本的ヘルスプロモーションの介入項目

- ① SDH(健康の社会的決定要因)
- ② 喫煙
- ③ 飲酒
- ④ 肥満
- ⑤ 栄養
- ⑥ 運動不足

主な活動

- ① 地域住民:
こども食堂への募金活動
健康事業部と市民への健康増進の取り組み
健康パンフレットの作成
- ② 患者対象
SDHを評価し「気になる患者」へ訪問
禁煙運動:推進シールを貼り
- ③ 職員対象
職員検診毎に肥満、栄養、運動へのモニタリング調査
喫煙、飲酒へのアンケート調査(保健師が嗜好職員の協力でbrief interventionの研修)
HPHの学習資料作成中



SDH:地域とともに

～ 5周年カンパのお願い ～



運動、肥満:地域とともに

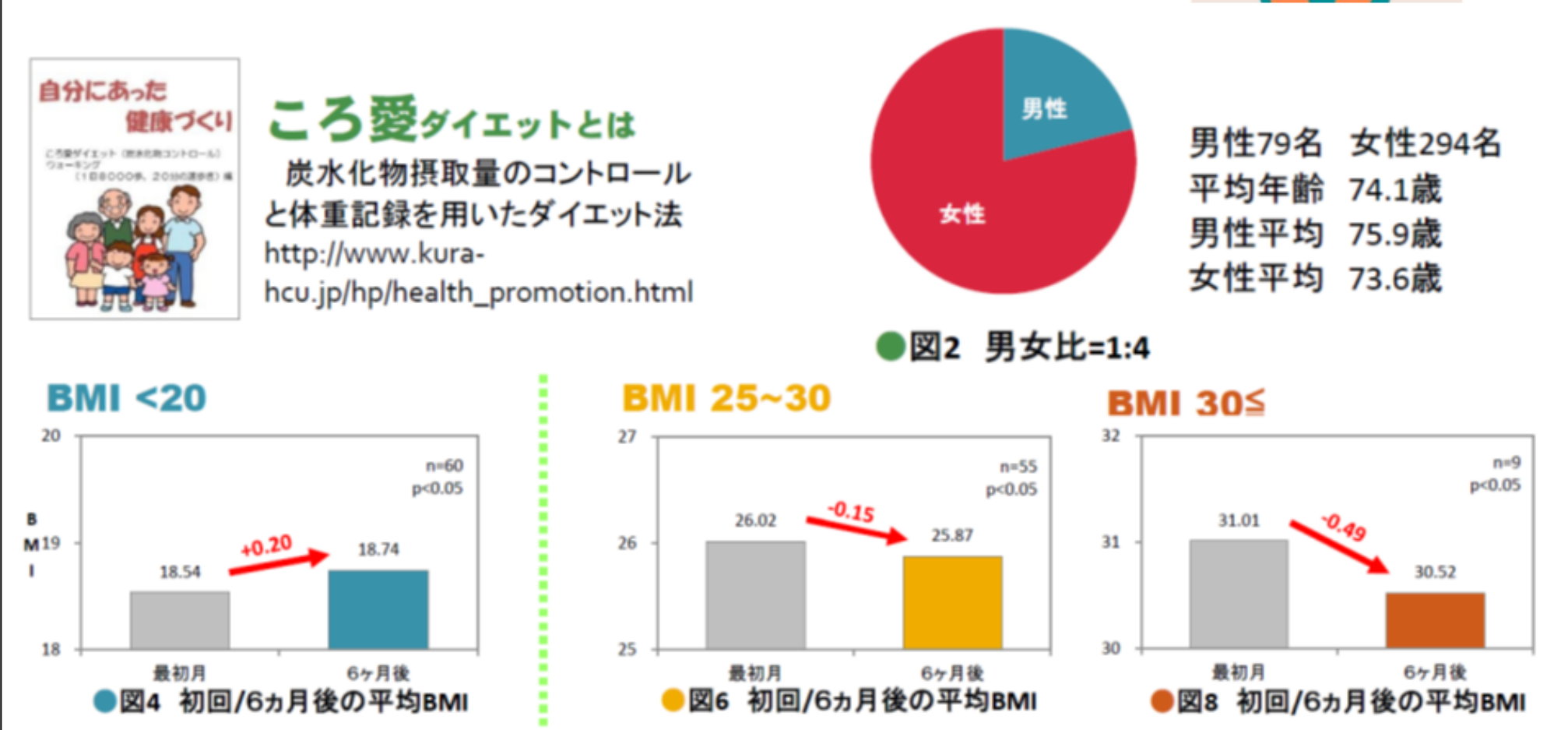
地域住民へパンフレット作成



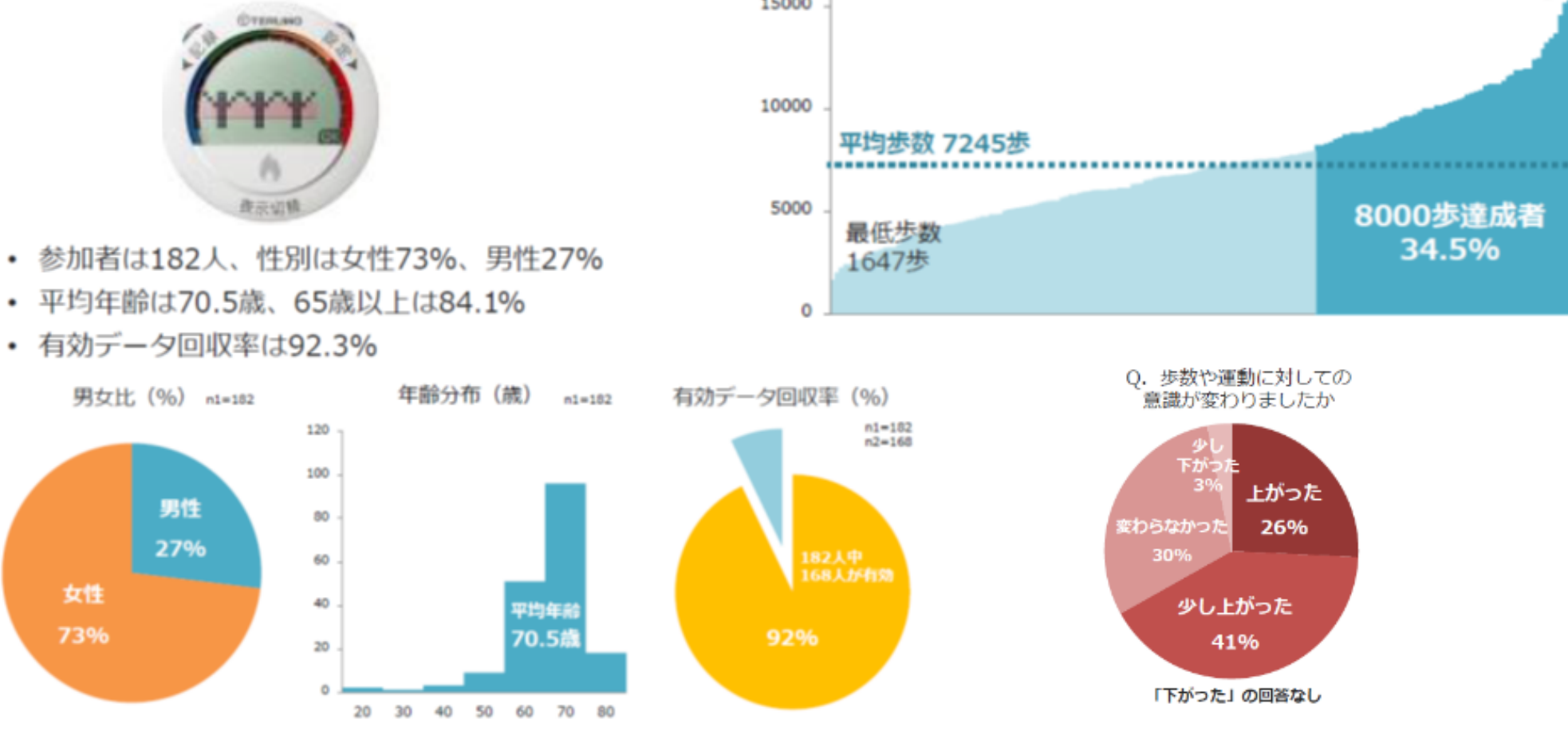
肥満と運動の改善を目的としたパンフレット作成

インターネットより無料ダウンロード:
http://www.kura-hcu.jp/hp/health_promotion.html

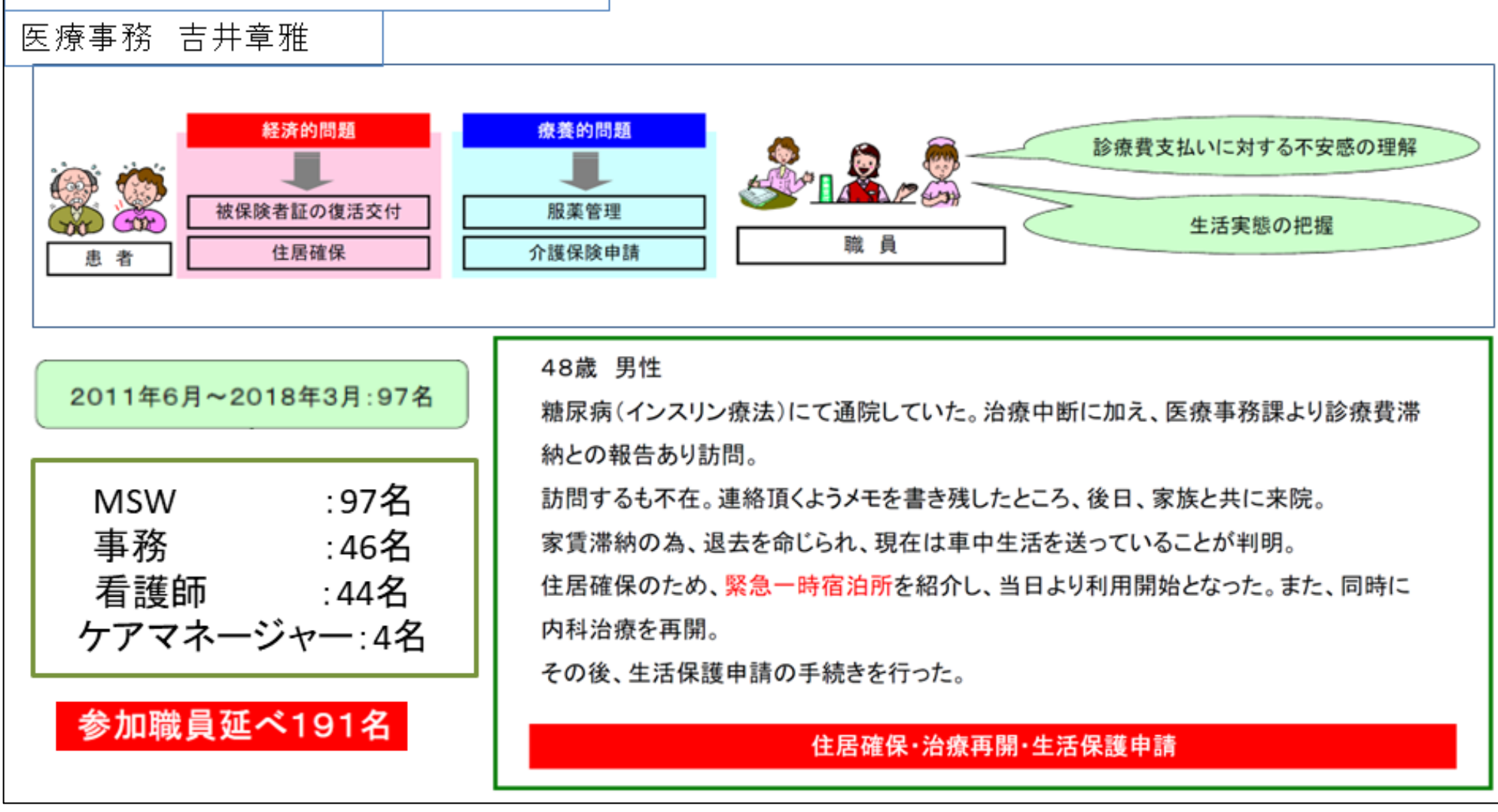
地域住民規模の体重チェック 約1000人参加 383人の6か月間
健康事業部 垣内春菜



地域住民の活動量計(歩行)による健康意識の変化
健康事業部 垣内春菜



「気になる患者訪問」の取り組み



禁煙 啓発活動

保健師 岡 梨絵

300名以上の職員が参加

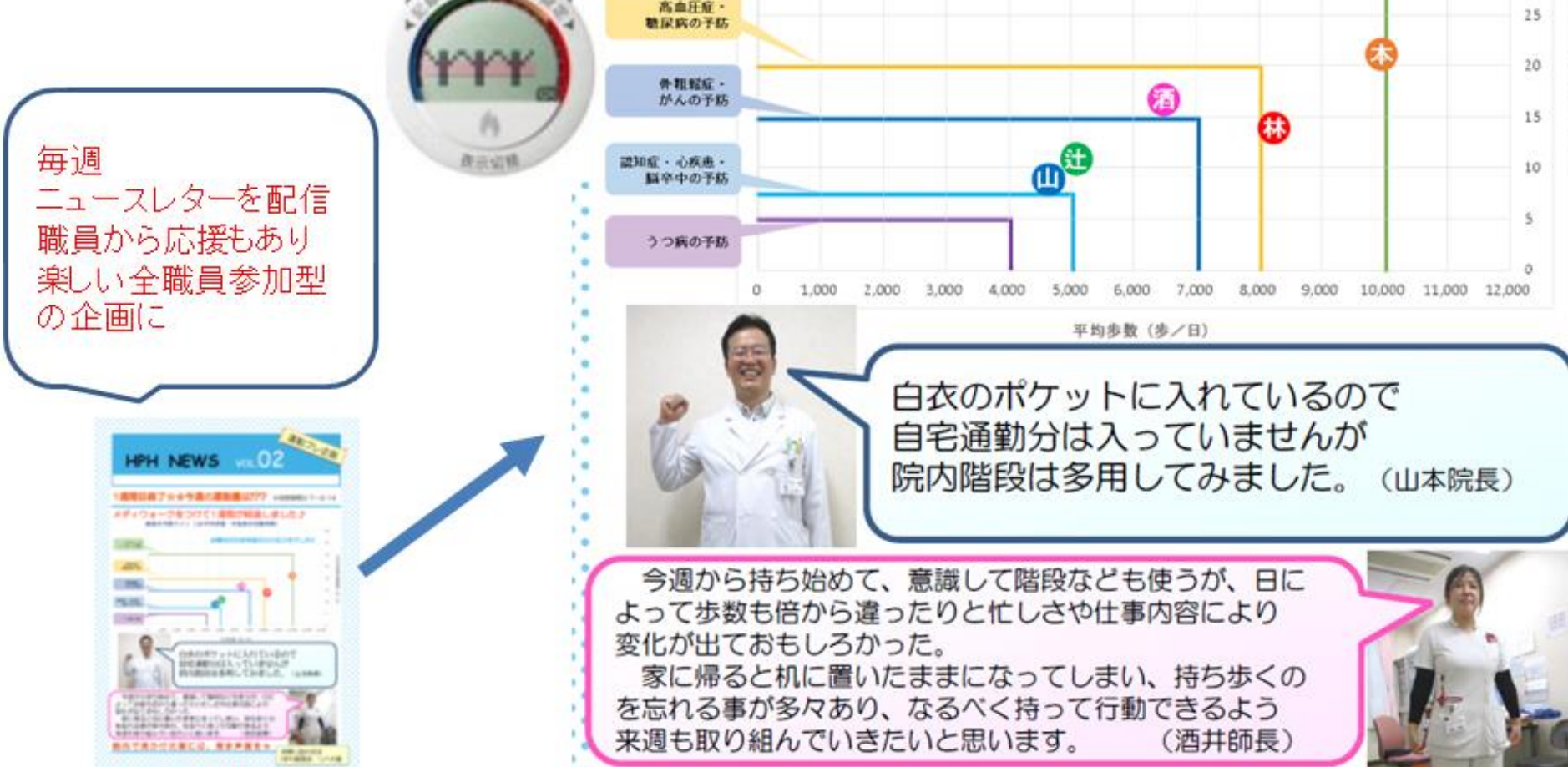


オリジナルの禁煙シール作成



運動(ウォーキング)のモニタリング

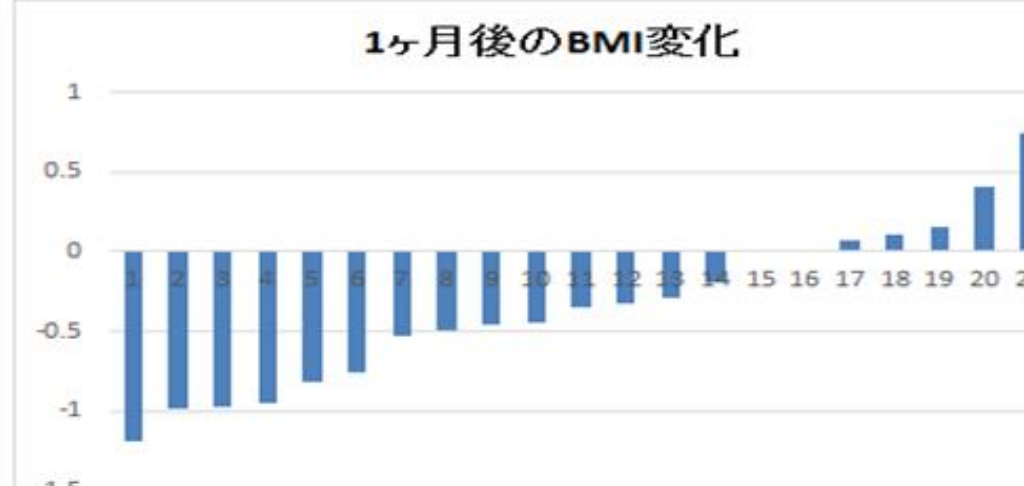
理学療法士 大室里美



職員検診
体重のモニタリング

栄養科 高田智恵美

- 職場スタッフでチャレンジ
- 体重日記 4週間
- ニュースレター報告



アルコール依存リスク疑い職員に協力のインタビューで保健師研修

保健師 井上佳恵

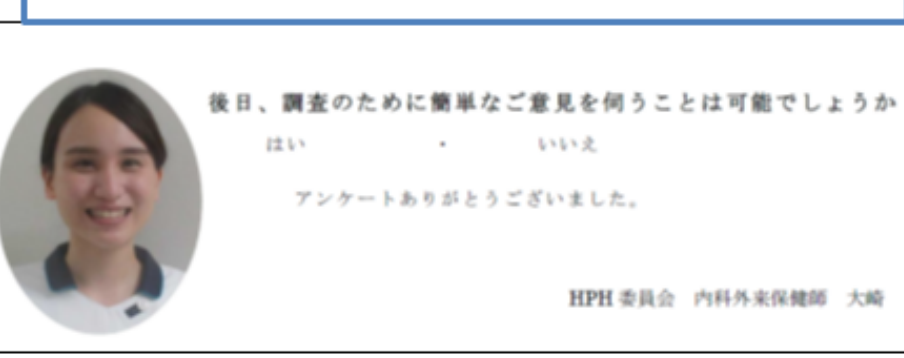
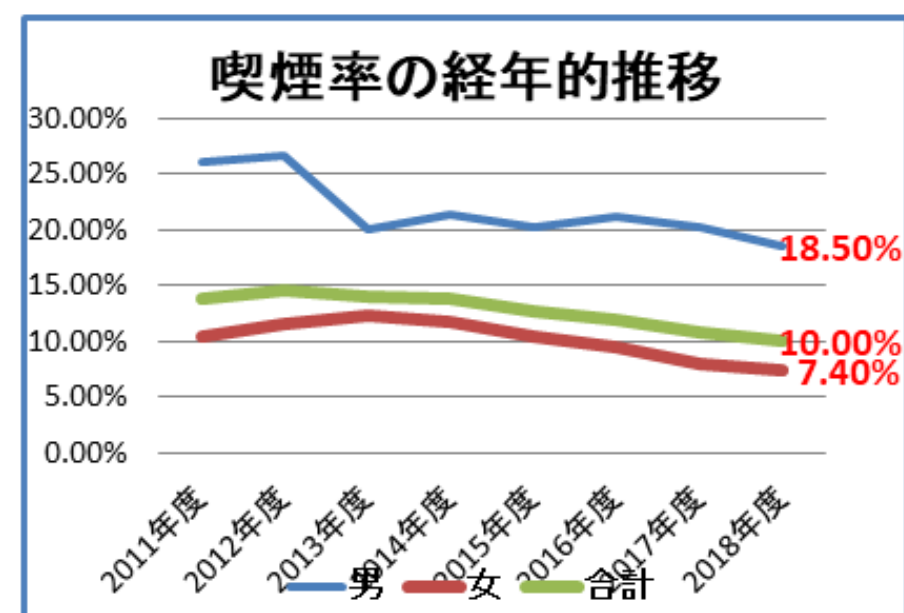
AUDITでスクリーニングを行いリスクがある人へインタビュー

Brief Interventionの特徴は、

- ①断酒ではなく、飲酒量の減量を目標にする。
- ②依存症の専門家ではなく、ヘルスケアの従事者によって行われる。
- ③依存症の患者でなく、依存症でない患者を対象とする。

喫煙者にアンケートと職員協力のインタビューで保健師研修

保健師 大崎泰葉



(まとめ)



当院の多方面への包括的活動報告を行い、発表を通して情報交換および議論の場としたい。

参考文献

a)加隈哲也:認知行動療法 肥満研究 Vol22 NO.2 2016、b)青柳幸利:「あらゆる病気を防ぐ「一日8000歩・早歩き20分」健康法:身体活動計が証明した新健康常識」草思社 2013、c)ゆずりは岳文(2010)「特集 精神障害が併存するアルコール依存症の病態と治療アルコール使用障害の治療の動向」『精神神経』第112巻8号、P794

日本HPHネットワーク 利益相反(COI)の開示

筆頭演者名:石部洋一

共同演者名:吉井章雅、田中慶子、高田智恵美、大室里美、森田千加子、淵崎朋美、井上佳恵、大崎泰葉、垣内春菜

筆頭演者ならびに共同演者に開示すべきCOIはありません。

お問い合わせ

E-Mail:ishibe819@gmail.com